

グローバルCBオープン・ 円コース

追加型投信／海外／債券

第41期末（2015年5月19日）	
基準価額	10,292円
純資産総額	24,444百万円
第36期～第41期	
騰落率	+0.8%
分配金合計	300円

*騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- ◆運用報告書については、2014年12月以降に決算を迎えるファンドから「運用報告書（全体版）」とその中の重要な事項を抜粋した「交付運用報告書」の二種類を作成いたします。
- ◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。
- ◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法により交付することを定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名の一部から探す」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ホームページアドレス <http://www.daiwasbi.co.jp/>
お問い合わせ先

デスクロージャー部 ☎0120-286104

受付時間は、毎営業日の午前9時から午後5時までです。

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

第36期 2014年12月19日決算 第37期 2015年1月19日決算
第38期 2015年2月19日決算 第39期 2015年3月19日決算
第40期 2015年4月20日決算 第41期 2015年5月19日決算
作成対象期間（2014年11月20日～2015年5月19日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「グローバルCBオープン・円コース」は、このたび、第36期から第41期の決算を行いました。当ファンドは、主として投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

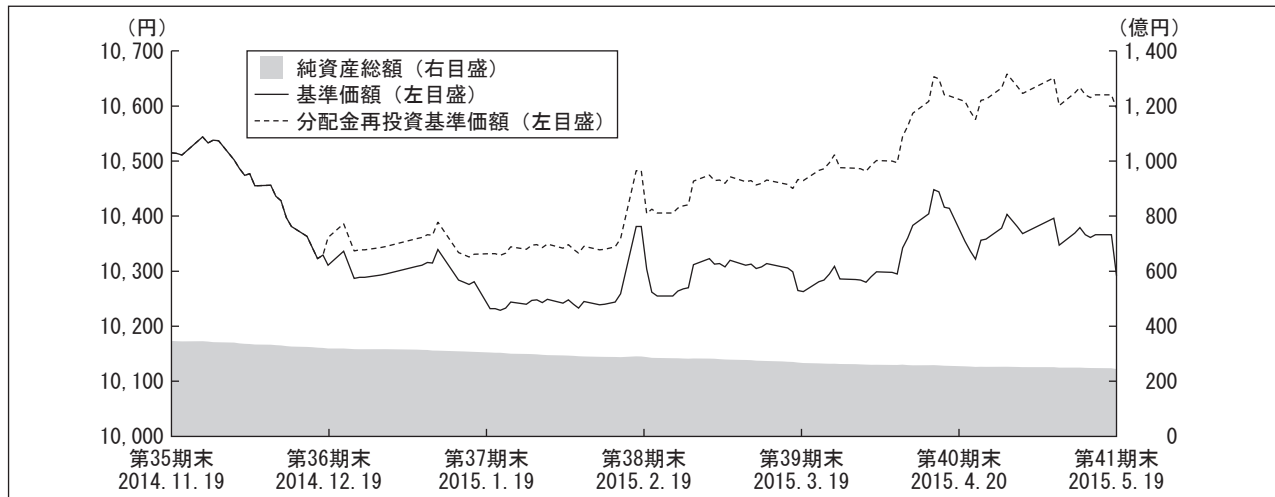


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第36期首：10,515円

第41期末：10,292円（作成対象期間における期中分配金合計額 300円）

騰落率：+0.8%（分配金再投資ベース）

■基準価額の変動要因

当ファンドは、Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象としました。

（上昇要因）

利回りに対する需要から高利回りの転換社債が上昇したことや、株価の上昇により株価との相関性の高い転換社債が上昇したことが上昇要因となりました。

（下落要因）

原油価格の下落に伴いリスク回避の動きが高まり、低格付債が下落したことが下落要因となりました。また、米ドルの円に対する為替ヘッジに伴うコストも下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第36期～第41期		項目の概要
	2014年11月20日～2015年5月19日		
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.522%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は10,343円です。
(投信会社)	(19)	(0.187)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(33)	(0.321)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	54	0.525	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

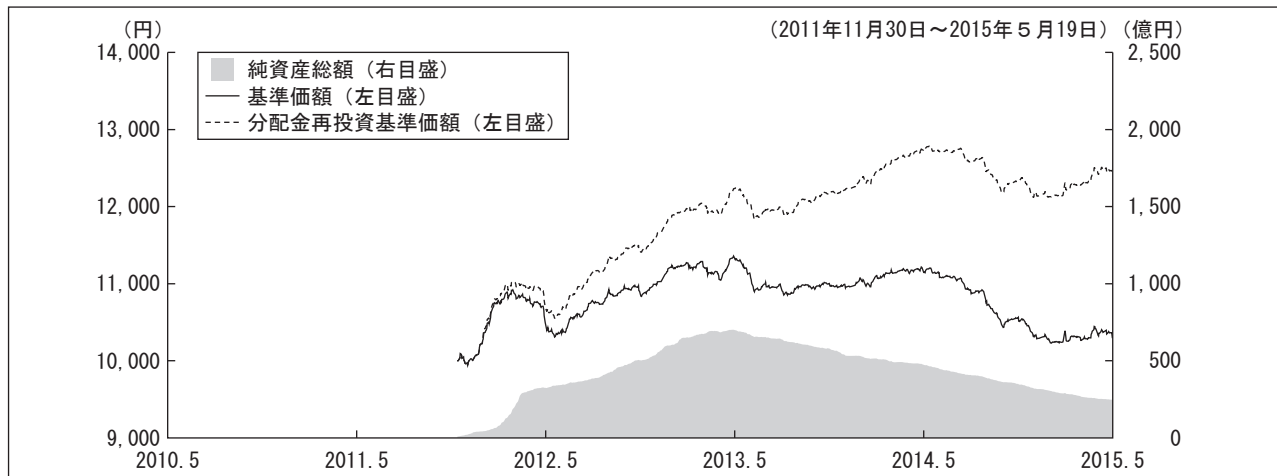
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日(2011年11月30日)より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2011年11月30日 設定日	2012年5月21日 決算日	2013年5月20日 決算日	2014年5月19日 決算日	2015年5月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,393	11,314	11,149	10,292
期間分配金合計(税込み) (円)	—	250	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.4	15.0	4.0	△ 2.3
純資産総額 (百万円)	840	32,298	69,795	47,434	24,444

【投資環境】

当作成期のグローバル転換社債市場は変動が見られたものの、堅調に推移しました。

作成期初は、原油価格の下落が続いた影響を受け、グローバル転換社債市場は軟調に推移しました。しかし、2015年1月に欧州中央銀行（ECB）による量的緩和の発表が好感され、市場は堅調に推移しました。米国では、経済指標がやや弱含み、景気や企業業績への懸念も見られましたが、米国での利上げ開始時期が当初想定されていたよりも後ろ倒しになるとの観測がグローバル転換社債市場のプラス材料となりました。世界的に見ると、中国の景気刺激策などが相場の下支え要因となり、利回りに対する需要が続いたこともグローバル転換社債市場には追い風となりました。

国内短期金融市場では、2014年10月末の日本銀行の追加金融緩和を受け、短期金利は大きく下振れていましたが、年末にかけては徐々に安定化の動きが見られました。2015年の年明け以降は、欧州での量的緩和導入観測や日本銀行のさらなる追加金融緩和観測を材料に短期金利は再び低下する局面もありました。しかし、超過準備預金への付利引き下げを否定した日本銀行政策決定会合を受けて、短期金利は再び0%付近を安定的に推移する動きとなりました。作成期首-0.076%で始まった国庫短期証券3ヵ月物利回りは、年末に0%付近まで上昇しました。その後、1月中旬に再び-0.05%程度まで低下した後、0.001%で作成期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

■グローバルCBオープン・円コース

主要投資対象であるGlobal Convertible Bond Fund JPY Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は98.5%としました。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

当作成期、原油価格の下落が続いたことから、エネルギーセクターへの投資比率を減らしました。地域別では、北米地域への投資比率を減らす一方、アジア・オセアニア地域への投資比率を増やしました。

個別銘柄では、南アフリカの家具メーカーであるシュタインホフ・インターナショナルへの投資がプラスに寄与しました。同社は欧州を主力市場としており、欧州での経済回復の兆しにより恩恵を受けました。また、中国の産業機械メーカーであるハイティエン・インターナショナルへの投資もプラスに寄与しました。中国の株式市場が非常に堅調に推移したこともプラス要因となりました。一方、南アフリカの鉄鉱石採掘会社であるアフリカン・ミネラルズへの投資がマイナスに作用しました。西アフリカ地域で拡大したエボラ出血熱により、シエラレオネでの操業を停止した同社の経営状況が厳しくなったため、同社の銘柄を売却し損失が発生しました。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債中心による運用を継続しました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債を中心とした運用を継続しました。作成期末の平均残存期間は3ヵ月程度となっています。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第36期～第41期の各期において50円とさせていただきます。(1万口当り税込み)

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2014年11月20日 ～2014年12月19日	2014年12月20日 ～2015年1月19日	2015年1月20日 ～2015年2月19日	2015年2月20日 ～2015年3月19日	2015年3月20日 ～2015年4月20日	2015年4月21日 ～2015年5月19日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	0.48	0.49	0.48	0.48	0.48	0.48
当期の収益 (円)	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,439	1,451	1,487	1,490	1,514	1,506

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■グローバルCBオープン・円コース

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建ての外国投資信託証券Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

米国での早期利上げ観測が後退している一方、欧州では量的緩和を通じて継続的に市場に流動性が供給されていることは、今後もリスク資産の下支え材料になると見ています。中国と日本の両国で追加緩和の可能性もあることも、グローバル転換社債市場の追い風になると考えています。企業のデフォルト率は今後も低位で推移し、低金利環境下での株式関連資産の相対的な妙味が注目されると見て、前向きな見通しを維持します。

世界経済が成長を続け、主要国の国債利回りが低水準で推移すると見られる中、社債および株式はともに投資対象として魅力的なことから、グローバル転換社債市場にとって追い風になると考えています。ギリシャ支援を巡る動向については引き続き注視していく一方、グローバル株式市場の上昇と魅力的な利回り水準の点で妙味があると見られる銘柄を中心に投資を行っていく方針です。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和と政策が続き、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

お知らせ

平成26年12月1日付の改正投資信託法施行に伴い、投資信託約款において以下の対応を行いました。(2014年12月1日付)

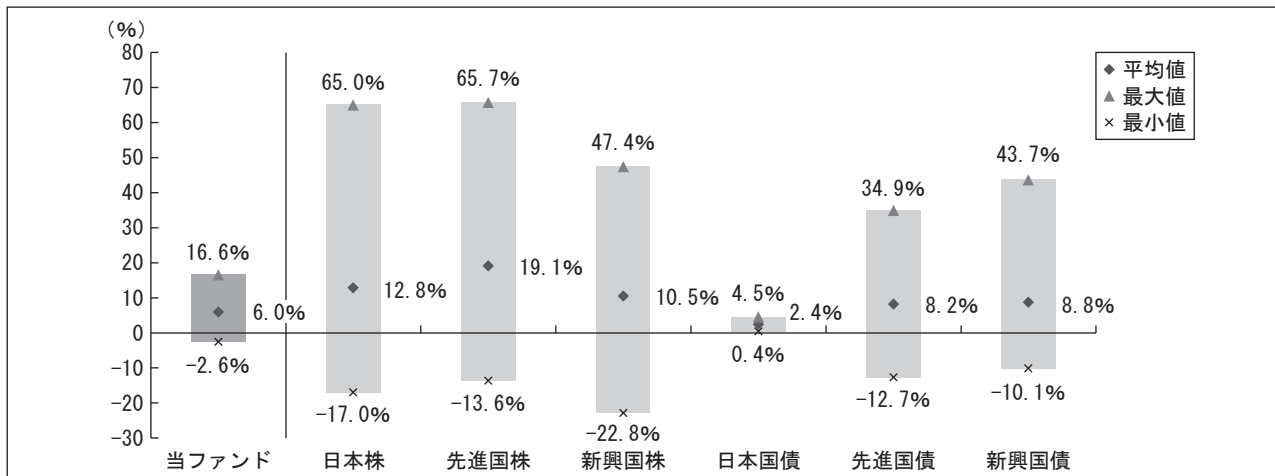
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供し得るための所要の変更を行いました。
- ・書面決議手続きの緩和に関する所要の変更を行いました。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月30日～2021年11月19日（約10年）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託証券Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・Global Convertible Bond Fund JPY Class ・キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Global Convertible Bond Fund JPY Class	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の転換社債（CB） ・為替取引の活用
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 ・外国投資信託証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ・銘柄の選定に当たっては、市場平均よりも相対的に利回りの高い銘柄を中心に、企業の信用力分析や株式価値等を総合的に勘案して銘柄を選定します。 ・原則として保有する外貨建資産に対し、米ドル売り、円買いの為替取引を行う外国投資信託証券に投資します。 	
分配方針	<p>毎月19日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>*分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2012年11月～2015年4月
 代表的な資産クラス：2010年5月～2015年4月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

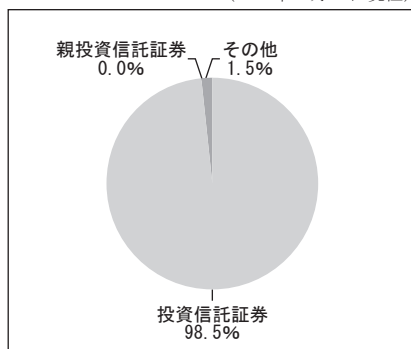
【組入ファンド】

	第41期末 (2015年5月19日)
	組入比率
Global Convertible Bond Fund JPY Class	98.5%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

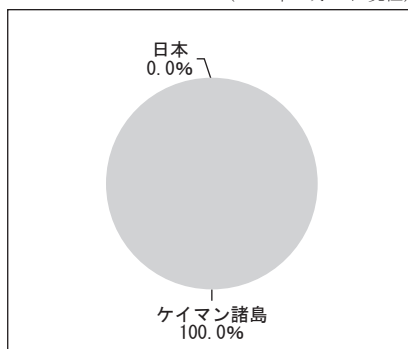
(2015年5月19日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

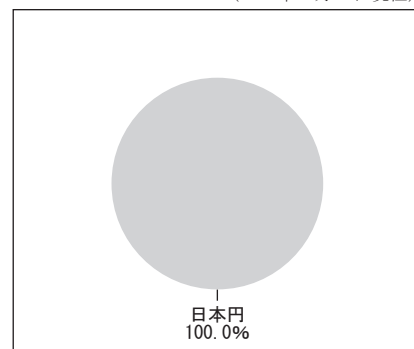
(2015年5月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2015年5月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

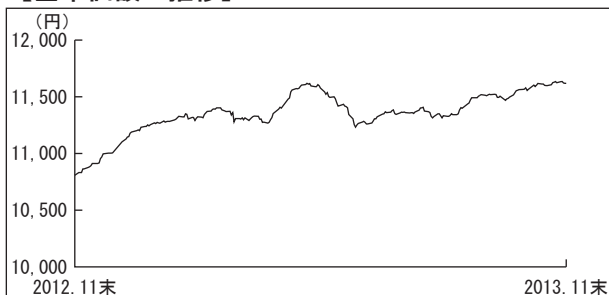
項目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
	2014年12月19日	2015年1月19日	2015年2月19日	2015年3月19日	2015年4月20日	2015年5月19日
純資産総額	31,905,221,737円	30,461,706,042円	28,515,635,793円	26,797,069,011円	25,426,831,131円	24,444,900,812円
受益権総口数	30,942,585,038口	29,771,582,038口	27,788,711,415口	26,104,397,985口	24,557,721,306口	23,751,617,381口
1万口当り基準価額	10,311円	10,232円	10,262円	10,265円	10,354円	10,292円

*当作成期間中における追加設定元本額は191,122,976円、同解約元本額は9,397,718,303円です。

《組入ファンドの概要》

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

【基準価額の推移】



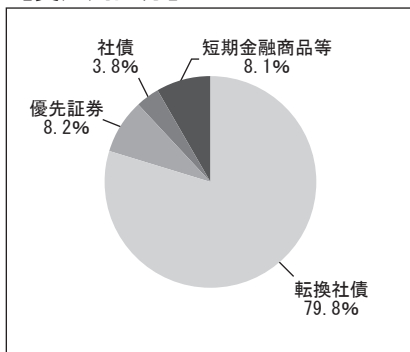
*上記グラフは、基準価額に分配金を分配時に再投資したものと表示しております。

Global Convertible Bond Fund

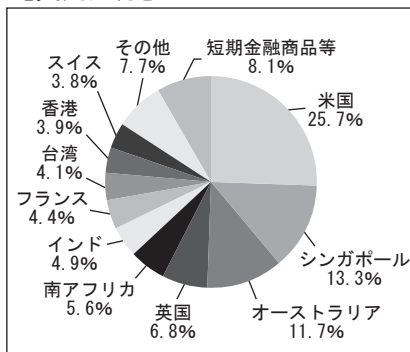
【1万口当りの費用明細】

費用については、開示されていないため、掲載しておりません。

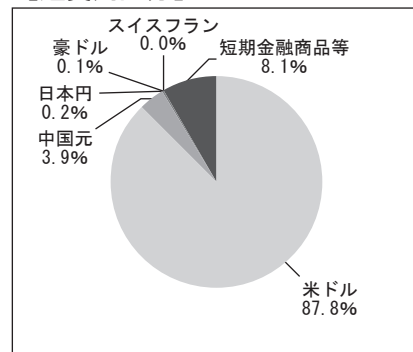
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



【組入上位銘柄】

銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種名	比率
1 STEINHOFF FINANCE HLDG	南アフリカ	4.500%	2018/3/31	耐久消費財・アパレル	4.8%
2 TEMASEK FINANCIAL III PR	シンガポール	0.000%	2013/12/14	耐久消費財・アパレル	4.7%
3 VEDANTA RESOURCES JERSEY	英国	5.500%	2016/7/13	素材	4.6%
4 AXA SA	フランス	3.750%	2017/1/1	保険	4.4%
5 AU OPTRONICS CORP	台湾	0.000%	2015/10/13	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.1%
6 CAPITALAND LTD	シンガポール	2.950%	2022/6/20	不動産	3.8%
7 CSG GUERNSEY IV LTD	スイス	7.125%	2017/3/22	各種金融	3.7%
8 BANK OF AMERICA CORPORATION	米国	7.250%	2049/12/31	銀行	3.5%
9 CFS RETAIL PROPERTY	オーストラリア	5.750%	2016/7/4	不動産	3.5%
10 OLAM INTERNATIONAL LTD	シンガポール	6.000%	2016/10/15	食品・生活必需品小売り	3.1%

(組入銘柄数 45銘柄)

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は2013年11月末現在のGlobal Convertible Bond Fundの純資産総額に対する比率です。

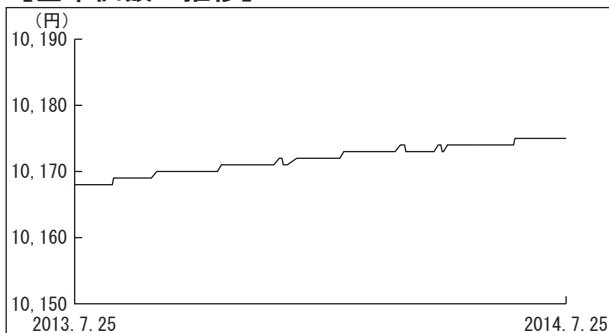
※ 組入上位銘柄における業種名は世界産業分類 (GICS) です。

※ 当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のGlobal Convertible Bond Fundの情報を記載しております。

※ 詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

※ 上記はブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーから提供されたデータに基づき作成しております。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 【基準価額の推移】



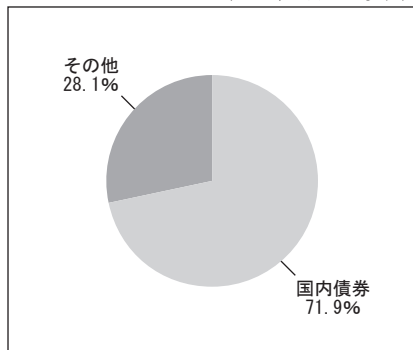
【1万口当りの費用明細】

(2013年7月26日～2014年7月25日)

当期中に発生した費用はありません。

【資産別配分】

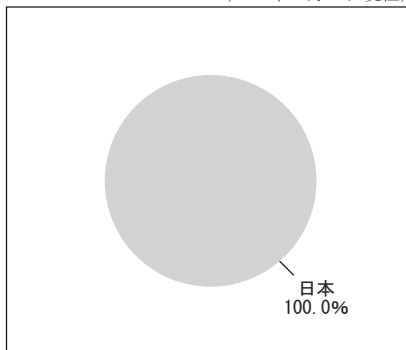
(2014年7月25日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

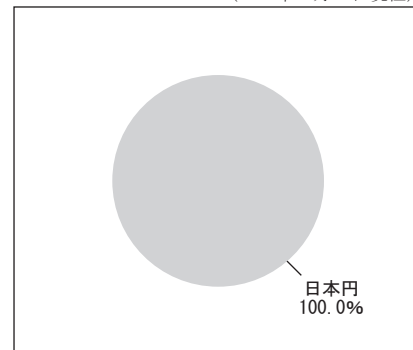
(2014年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2014年7月25日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2014年7月25日現在)

銘柄名	比率
1 455 国庫短期証券	17.6%
2 404 国庫短期証券	17.6%
3 465 国庫短期証券	13.4%
4 323 2年国債	12.5%
5 319 2年国債	8.9%
6 13 リコーリース	1.8%

(組入銘柄数 6銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い
資産運用会社を目指します